

10月28日（月）「失敗は成功のもと」

全校のみなさん、おはようございます。

先週、5年生のハケ岳移動教室がありました。はじめての移動教室でしたが、ルールを守って生活し、多くのことを学んでいてとても立派でした。

さて今日はカエルのお話をします。昨年も同じようなお話をしたので、覚えている人もいるかもしれませんが、カエルと言っても、普通のカエルの話ではありません。皆さんの成長につながる「〇〇ガエル君」たちのお話です。

一匹目は、「まちガエル君」です。間違えてうれしい人はいないと思いますが、いろいろ挑戦してみて、試してみて間違えることは、とても大切なことです。特に初めてのことは間違えたり失敗したりします。でもそのことが次の成功につながります。間違えたことを直すことが大事です。

二匹目は、間違えたことを直す「かんガエル君」です。「どこを間違えたかな、どうして間違えたかな、どうしたら間違えないかな」と考えます。それが大事です。

よく考えたら、3匹目のカエル「みちガエル君」になります。見違えるというのは成長したということ。成長して「びっくり、今までと違う！」から、見違えるのです。このように、間違えて、考えて、見違える、このことができたらそれが成長です。だから、間違えることを恐れず、授業でもどんどん発表してみましょう。そして、周りの人も、間違えたことを笑わないようにしましょう。周りの温かい思いやりが大切です。みんなで、間違えたら、考える、考えたら、見違える。このようにして成長していきましょう。5年生のみなさんも移動教室の1日目はお話の聞き方や集まる時間など直したほうがよいところがありましたが、そこにすぐに気が付いて改善していました。まさに「間違える、考える、見違える」のお手本のような立派な態度でした。

「失敗は成功のもと」という言葉がありますが、これから2学期の学習や生活で、間違えた時に、「成功のもと」と思ってください。

それではこれでお話を終わります。お話の聞き方が上手な人が多くて本当にうれしいです。